

日本産ヒョウタンカスミカメ族のWeb図説検索表

An Illustrated Key to Japanese Species of the Tribe Pilophorini (Heteroptera, Miridae) on the Web

中谷至伸\*

Yukinobu Nakatani

1. はじめに

ヒョウタンカスミカメ族 Pilophorini Douglas & Scott はカスミカメムシ科チビカスミカメ亜科に含まれ、全世界でおおよそ 150 種ほどが知られる比較的小規模なグループである。このうち、わが国では17種が確認されており、アリによく似た種が多い(図1)。ヒョウタンカスミカメ類には特定の植物との関連がよく見られるものの、多くは肉食性で他の小昆虫を捕食していることが知られている。本族、特にヒョウタンカスミカメ属 *Pilophorus* では種数はさほど多くないものの、たがいに類似した種が多く、一般に同定が難しいとされるカスミカメムシ科の中でも特に同定の困難なグループの一つである。



図1 クロヒョウタンカスミカメ成虫

2. ヒョウタンカスミカメ族の分類と同定

ヒョウタンカスミカメ族に含まれる種は大きいものでも体長 5mm、小さいものは 2mm ほどと、小形の種が多い。背面には銀白色鱗毛をそなえ、特にヒョウタンカスミカメ属では鱗毛が2列の横帯を形成し(図2)、この横帯が体側のくびれを強調することで、アリのようにみえる。

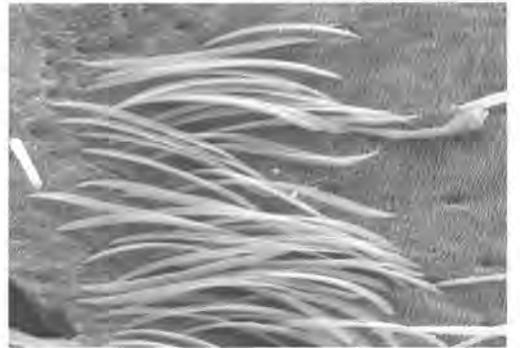


図2 ヒョウタンカスミカメ半翅鞘上の銀白色鱗毛列

わが国では本族はヒョウタンカスミカメ属および *Druthmarus*、*Hypseloecus*、*Pherolepis* そして *Sthenaridea* の5属17種で構成される。このうちヒョウタンカスミカメ属が11種を含むもっとも大きな属である。これらの種については、図鑑なども出版されてはいるものの、一部を除き

体色、体形などが類似しており、正確な同定を行うためにはしばしば生殖器の解剖が必要になることから、分類の専門家以外では同定は困難である。種の同定に用いる形質をわかりやすく図示したものがあれば、分類の専門家でなくてもある程度同定ができるのではないかと考え図説検索表を作成した。

\*農業環境インベントリーセンター

Natural Resources Inventory Center  
インベントリー, 第5号, p26-27 (2006)

### 3. ヒョウタンカスミカメ族の図説検索表

ヒョウタンカスミカメ族の図説検索表は農業環境技術研究所の研究・技術情報のページ (<http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/index.html>) からアクセスできる。画面の左に全形図を表示し、右側で拡大している部位がどこかわかるように矢印で示した。利用者は該当部位を観察し、どちらに該当するか判断、リンクをたどることで該当する種に行き当たるようになっている。なお、当ページには英語版も用意してあります。今後は個々の種について解説および画像を充実させてゆく予定である。

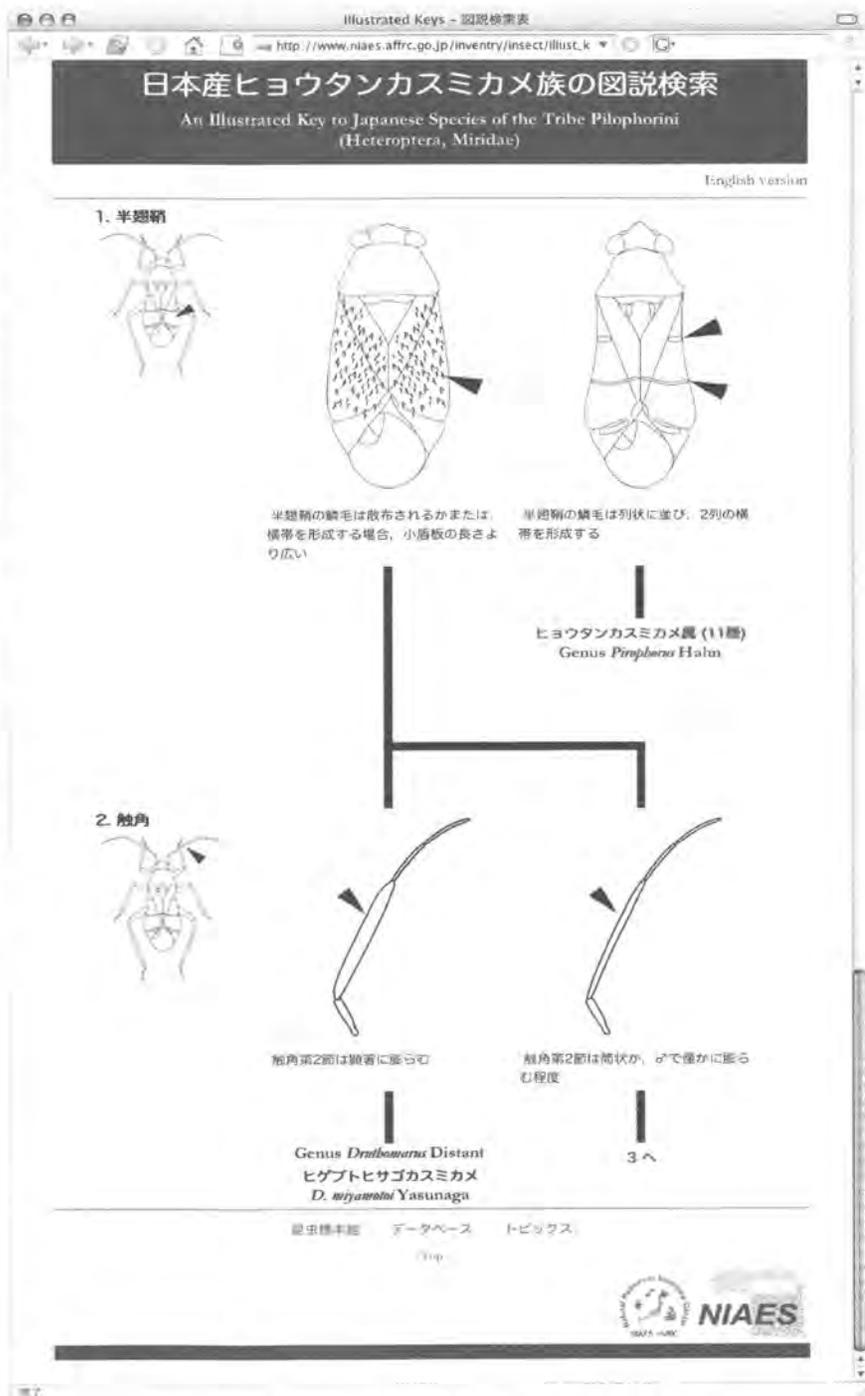


図3 ヒョウタンカスミカメ族Web図説検索表画面

#### 問い合わせ先

農業環境インベントリーセンター 中谷 至伸  
 電話：029-838-8348, E-mail：nakatany@affrc.go.jp